

防災・安全ニュース

VOL. 33

危機管理課

2026年1月号

電話：65-1282

新年あけましておめでとうございます。皆さまにとりまして幸多き年となりますよう祈念いたします。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 冬の災害への備え
- ・ 自転車保険加入の義務（愛媛県）
- ・ 山雪型／里雪型

冬の災害への備え

1月の大きな災害といえば、1995年の阪神・淡路大震災、一昨年元旦の能登半島地震などがありました。また、先月8日の23:15に発生しました青森県東方沖の地震では、津波警報・注意報が発表され、該当地域では真夜中の避難を余儀なくされました。

私が阪神・淡路大震災で空から救援に行った際には、学校のグラウンドなど、あちらこちらでたき火の煙が上がっていたのが印象的でしたが、特に1月から2月上旬は厳冬期に当たりますので、地震などの突然の災害に備え、温かい防寒着はもちろん、カイロなどの**暖を取れるものを身近に備え**ておくの良いかと思います。

また、雨や雪、汗などで体が濡れたときには、低体温症の危険性が急速に高まりますので**雨具や着替えも準備し、着替えはビニールでパッキング**されていると、より良いかと思いますので**今一度備えを確認**してみてください。

災害時の低体温症に関する記事（YAHOO! JAPAN ニュース）

→ <https://news.yahoo.co.jp/articles/c28404ab6384c20406ee763467bffc7f2adf8ec>

自転車保険加入の義務（愛媛県）

大人から子供まで手軽に乗れる自転車は、多くの人が利用していますが、愛媛県では「愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例」の第15条により、**令和2年4月1日から自転車損害保険等への加入が義務化**されています。

万が一、**交通事故の当事者となった場合には、1億円ほどの多額の損害賠償を求められることもありますので、下のURLから自分の保険加入の状況を確認し、必要な場合には保険に加入しましょう。**



また、自転車に乗るときは自らを守るため、ヘルメットを着用しましょう。

自転車保険加入促進チラシ（加入状況チェックシート）

→ <https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74084.pdf>

山雪型／里雪型

冬も本格化してきましたが、スキーなどで日本海側に出かけられる方もいらっしゃると思います。そこで大雪による交通渋滞や事故を避けるために、地上天気図から読み取れる山雪型と里雪型について簡単に説明します。**山雪型と里雪型は、日本海側において山間部と平野（里）部のどちらに大雪を降らせる傾向があるかを見分けるものです。**

山雪型は、次ページ左図のように**日本海の東圧線（同じ気圧のところを結んだ線）が南北にほぼまっすぐになって、強い季節風が吹くのが特徴です。**このため、**強風による停電や飛散物による事故にも注意**が必要です。

里雪型は、次ページ右図のように**日本海の等圧線が「く」の字に曲がり袋状になって、風が弱い特徴があります。**里雪型では、**短時間に大雪が降ることも特徴**ですので大雪警報が発表され、**急な積雪**

による交通障害の発生や付着した雪で電線が切れて停電することもあります。

ご紹介した内容は、あくまでも目安ですので最新の気象情報を確認するようにしてください。



山雪／里雪（気象庁HP）

→ https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/hokuriku/column02.html

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

普段何気なく交わしている言葉には意味があったりします。例えば、「行きます。」は「行って、必ず無事に帰ってきます。」の短縮形、「ただいま。」は「ただいま帰りました。」の短縮形です。そして、「お帰りなさい。」は仕事などで出かけたことに対して苦労をねぎらう気持ちと、家の外に出て体に憑いてしまった邪気などに対して、丁寧な言葉で「外にお帰り。」と言っているともいわれています。今日から外に出かけて帰った家族などには「お帰り～！」ではなく「お帰りなさい。」と言ってみては如何でしょうか。（N.O）